



令和4年4月15日
 文責 校長 清水光朗

津屋崎中学校のホームページ
 をご覧ください。

◀ コミュニティ・スクール 津屋崎中学校の教育目標 ▶

津屋崎中学校では、教育目標を『津屋崎・勝浦に学び、持続可能な社会の創り手となる子どもの育成』として、教育活動を行っています。津屋崎・勝浦の「ひと・もの・こと」を学ぶことで、地域の「良さや課題」に気づき、地域・社会の将来の在り方を考えて、主体的に地域・社会に関わっていくことができる子どもの育成を目指していきます。保護者の皆様や地域・小学校と共働・連携し、地域愛を持ち、地域や社会の課題に主体的に取り組み、夢や目標を持って努力する生徒を育てていきたいと考えております。

特に、生徒たちが、与えられた課題だけではなく、自分で課題や目標を考え、乗り越えて成功する体験を大切に考えています。そして、「仲間づくりや、居場所づくりを意識した学力向上の取組」や、教師が向上心を持って臨む日々の授業における教科指導、様々な教育活動に力を入れております。行事の取組、生徒会の活動、生活指導、清掃活動、学力向上・学び合い学習、ICT を効果的に使った授業、給食指導、進路指導、部活動、地域学習、地域貢献活動など、コロナ禍ではありますが、感染防止対策をとり、精一杯行っております。

◀ 4月6日、離任式・赴任式・始業式が行われました。▶

本校、体育館で、離任式・赴任式・始業式を行いました。赴任された先生、離任された先生を紹介します。

【 離任された先生 】

村田 日奈子(主幹教諭)	福間東中学校へ転任
嶋村 砂久哉(英語)	福間東中学校へ転任
橋口 愛子(理科)	福岡市立早良中学校へ転任
稲垣 舜哉(数学)	須恵町立須恵中学校へ転任
山下 碧(家庭科)	大野城市立大野中学校へ転任
檜山 映莉(主任主事)	福岡県立玄界高校へ転任

【 赴任された先生 】

占部 真澄(主幹教諭)	福間東中学校から
大和 広文(社会)	明治学園から
安武 厚(英語)	太宰府中学校から
研尾 樹(理科)	新規採用
小島 和也(支援学級担任)	大島学園から
西田 富喜(音楽)	福岡中学校から
黒澤 美奈(主任主事)	宮若東中学校から

また、福津市の少人数教育非常勤講師として、徳永真次先生(数学)が勤務されています。

◀ 4月8日、入学式が行われました。▶

本校、体育館で第76回、津屋崎中学校入学式を行いました。新型コロナウイルスの感染防止のため、マスクをしたまま、換気に気を配って、参加人数を減らして、式の内容も縮小して行いました。天気にも恵まれ、新入生も4クラスで、151名が入学し、津屋崎中学校の生徒となりました。今年度は、1年生151名(4クラス)、2年生165名(4クラス)、3年生131名(4クラス)、支援学級5クラスで、全校生徒が447名となりました。「おはようございます」とあいさつがしっかりできる、明るく元気の良い新入生たちで、とてもうれしく思います。式では、担任の先生の呼名に対して、しっかり「はい」と返事をしていました。そして、1年4組の村上舞衣さんが新入生代表「誓いの言葉」を、ステージの演台に立ち、「不安や緊張が、楽しみにかわり、力を精一杯出しきり、努力して頑張っていくことを誓います。」としっかり述べてくれました。

学校長、入学式 式辞

津屋崎中学校 第76回入学式が挙行できますことを、心より感謝申し上げます。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

さて、津屋崎中学校には、本日、生徒代表で、出席しております生徒会役員のように、やさしく、人柄が良い、頼りになる先輩たちがたくさんいます。いろいろなことを親切に教えてくれることでしょうか。そして、生徒会の活動や学校行事・部活動などで、あたたかく、皆さんを支え、導いてくれることでしょうか。学習面では、教科が10教科となり、それぞれで専門の先生が、指導してくれます。興味を持って、たくさん学んでほしいと思います。部活動でも、生徒のために熱心に指導してくれる先生たちや指導者の方がおられます。ぜひ、部活動に入部してください。

また、本校は、ギガスクール構想を進めています。生徒一人一人に一台のクロームブックを渡し、プロジェクター等を使ってICTを生かした授業も進めています。教科書の内容や、学力を高めることは、もちろん、いろんなことに時間をかけて、幅広く、深く、学んでほしいと思います。

～中略～

昨年、アメリカのベースボール、メジャーリーグでMVPを受賞した大谷翔平選手の話は、夢や希望がある明るい話題です。ピッチャーとバッターの二刀流で活躍する彼の歩んできた人生は、いくつもの生き方のヒントとなるものがあります。彼は、小学校3年生直前で野球を始めたころから、父のすすめで、「野球ノート」をつけています。その日に起きた良かったこと、悪かったこと、自分が感じた「次にこういうことをやろう」という内容を書き込むようにしているそうです。野球以外でも、自分が気づいたこと全般、読書の中で心の残ったフレーズも自分に活かさないかとメモに残し、良いきっかけ作りに利用しているということです。この良いものを取り入れようとするメモや、一日の振り返りを、書く習慣が、「考える」という作業に深みを与え、意識づけとなって、絶えざるレベルアップの原動力になっているとされています。これは、プロになった今でも、野球ノートがスマホのメモとなり、iPadとなり続けているそうです。そして、見るポイントは相手のいいところだけ、短所ではなく、相手の長所を見て、この人のこういうところを真似してみようなど、自分をどう成長させるかに興味があるそうです。

また、先入観や固定観念は、人の可能性をつぶしてしまうとされています。彼は「できないと思っていたこと」が、「できるんじゃないか」と思うことで、『できるようになった体験』を経て、最初からできないと決めつけることは、やめようと考え方が変わりました。高校では、監督から『ゴミは人が落とした運、ゴミを拾うことで運を拾うのだ。そして、自分自身にツキを呼ぶ。そういう発想をしなさい。』と教えられています。プロになったとき、さりげなくゴミを拾う先輩の姿が、とてもカッコよかったそうです。今、大谷選手が試合中、ゴミを拾う姿や、相手を尊重する振る舞いは、アメリカで、「私たちが必要としていたヒーローだ」、「大好きだ」、「すべての子どもに見てもらいたい偉大な模範」、「一流の振る舞い」などと絶賛されています。彼は、様々なことを、スポーツの素晴らしさや、感動と共に教えてくれています。

皆さんも、中学校生活で一日一日を振り返り、人の良いところを取り入れるなど、自分をレベルアップしてください。できないと決めるのではなく、できるんじゃないかと思うことで、できるようになる経験をしてほしいと思います。大谷選手のように相手を尊重する振る舞いを身に付けたり、チャレンジして、自分の道を切り開く力を身に付けたりしていきましょう。以下、略

新入生誓いの言葉

新入生代表 1年4組 村上舞衣さん

今日、私たち151名は、津屋崎中学校の一年生になりました。私たちは今日という日を待ち望んでいました。しかし、中学校での生活は、初めてのことばかりで、不安や緊張もあります。けれども、校長先生をはじめ、来賓の方からの励ましの言葉をいただき、これからの中学校生活が楽しみになってきました。

先生方、先輩方の姿を見習い、ルールを守って多くの仲間たちと中学校生活を楽しくしていきたいと思ひます。勉強や学校行事、生徒会活動、部活動では、自分の力を精一杯出しきり、努力して頑張っていくことを誓ひます。今日この新鮮な気持ちを忘れずに、三年間頑張っていくことを誓ひます。【↓左：新入生、右：誓いの言葉】



【 ↑ 職員紹介の様子：1年生学年主任・担任・担当学年の先生、主幹教諭、教頭 】

【 これからの予定 】

- 4月27日(水) 3年生進路説明会
- 5月6日(金) 体育祭全体練習・ブロック結団式
- 5月18日(水) 体育祭リハーサル
- 5月21日(土) 体育祭
- 5月23日(月) 体育祭代休

※ 体育祭の保護者様のご参加については、後日お知らせします。